

商品名 ムルプレタ錠3mg 医薬品基本情報

薬効	3399 他に分類されない血液・体液用薬	一般名	ルストロンボパグ錠
英名	Mulpleta	剤型	錠
薬価	12302.20	規格	3mg 1錠
メーカー	塩野義製薬	毒劇区分	

ムルプレタ錠3mgの効能・効果

慢性肝疾患の血小板減少症の改善

ムルプレタ錠3mgの使用制限等

1. 開胸を伴う観血的手技、開心を伴う観血的手技、開頭を伴う観血的手技、開腹を伴う観血的手技、臓器切除を伴う観血的手技	記載場所	効能・効果
	注意レベル	禁止
2. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、重度肝機能障害＜Child－Pugh分類C＞	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
3. 血小板数が本剤投与開始前の値に復帰していない	記載場所	用法・用量
	注意レベル	注意
4. 血栓症又はその既往、血栓塞栓症又はその既往、門脈血流が遠肝性	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

ムルプレタ錠3mgの副作用等

1. 血栓症、門脈血栓症、腸間膜静脈血栓症	記載場所	重大な副作用
	頻度	5%未満
2. 血中フィブリノゲン減少、フィブリンDダイマー増加、FDP増加、AST上昇、ALT上昇、ビリルビン上昇、回転性めまい、血圧上昇、血中カリウム増加、関節痛	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
3. 発疹、白血球数減少、悪心、頭痛、発熱、倦怠感、疼痛	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満

4. 血栓症、易出血性、血栓塞栓症、胎仔発育抑制、胎仔頸部短小過剰肋骨＜変異＞、妊娠期間延長、出生仔生存性低下、出生仔発育抑制、次世代の受胎能低下、次世代の黄体数低下、次世代の着床数低下、着床前死亡率増加、胎仔胸腰部短小過剰肋骨＜変異＞、血小板数が過剰に増加、骨髓レチクリン線維症、骨髓異形成症候群進行、血液悪性腫瘍進行

記載場所

使用上の注意

頻度

頻度不明



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.